

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 沖縄に関する第三国の動向（韓国）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43848

公館來電

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

化の一例として例えば北隣に比べ韓国が空軍力において極めておどつているので航空機の供与を求めたが、在日米空軍を移駐せしめるから心算に及ばんというような応答振り、それもいつ事情変更により引き上げられるか解らぬので韓国側は強くこれに対し不満を表明した。)

3. 冒頭電第139号のOANNONの声明に関しては同人が在ソール米大使館のPRESS ATTACHEで今回は韓国人随行記者団の世話を当てるために当地に来ておるもので、米側代表団のスポーツスマンでもないのにかかる行動に出たことは全く理解にくるしむところであり、昨日衆の新聞社からの問い合わせに対しても全く米側の誤解に基づくものであると応じゆうしている次第である。あるいは米側のMANOEUVREINGかとも疑つてみたが、それは思い過ぎかも知れない。

4. 韓国軍の近代化は米軍削減の前提条件であると韓国側は主張しているが、米側はこれが必ずしも前提条件ではなく、平行して行はれるといつており、自分としても米国内政上の要請から近代化達成以前の米軍の削減をくい止めることはむずかしいかとも考えておるが、いずれにしても米側代表が会議へき頭本件を持ち出しながら、その後これを引込めたことは本件会議が一応成功であつたと評価出来るのではないかと考えている。

米に転電したい。(7)